

【 西 当 別 小 学 校 】

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年度「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果分析がまとまりましたのでお知らせいたします。児童が取り組んだ、国語、算数、そして、学習等に関する児童質問紙について、全道、全国と比較しながらの分析となっています。

なお、この結果については、本校の6年生を対象に国語、算数の2教科のみの実施であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。



1, 国語・算数の調査結果

本校児童は 今回出題された学習内容に関しては・・・

教 科	全道平均との比較	全国平均との比較
国 語	上回っている	上回っている
算 数	上回っている	上回っている

2, 全体的なおおよその傾向

- ★各教科とも、全道・全国平均正答率を上回っています。
- ★国語では、全道・全国の「正答数の少ない層」の範囲に含まれる児童の割合が、相当少ないことが本校の特徴として挙げることができます。

国 語

1, 内容の様子・特徴的な設問

<学習指導要領 内容の様子>

学習指導要領の内容	全道平均との比較	全国平均との比較
言葉の特徴や使い方に関する事項	上回っている	上回っている
情報の扱い方に関する事項	上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	同程度	同程度
書くこと	上回っている	上回っている
読むこと	上回っている	上回っている

＜今回の調査における特徴的な問題＞ (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題は、全国平均正答率を大きく上回りました。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
 たくさんの酸素を取り入れながら続ける
 ・軽いジョギング
 ・縄とび(続けてとぶ)

◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん関節に大きな力を出す
 ・ふっさん運動
 ・うで立てふせ

◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん関節に大きな力を出す
 ・うで立てふせ

◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん関節に大きな力を出す
 ・ふっさん運動
 ・うで立てふせ

◇体のやわらかさを高める運動
 しゅん関節に大きな力を出す
 ・ふっさん運動
 ・うで立てふせ

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例
 軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例
 腹筋運動 腕立てふせ

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【正答】3

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が低くなりました。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アがいに雑草が増えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

日	農家の田んぼの雑草の量	学校の田んぼの雑草の量
7月1日	2	1
7月8日	3	1
7月15日	4	1

1日あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【カード①】
 6月24日
 ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
 ・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいしようするのではないかと心配だ。

【カード②】
 6月30日
 ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
 ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
 ・調査きかん 7月1日～15日

【カード③】
 7月19日
 ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
 ・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】
 7月20日
 【農家の石山さんのお話】
 ・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】
 7月21日
 【学校でできる解決方法】
 ・雑草取りの回数を増やす。
 ・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

【正答例】グラフからわかるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

2, 国語 改善の方向

- ・情報の真偽の確認、取捨選択、分析、まとめといった学習場面を設定します。書籍の引用、ICTの活用等も併せて指導していきます。
- ・対話を重視した協働的な学習活動を設定し、考えを広げたり深めたりできるようにしていきます。

算 数

1, 領域の様子・特徴的な設問

<学習指導要領の領域の様子>

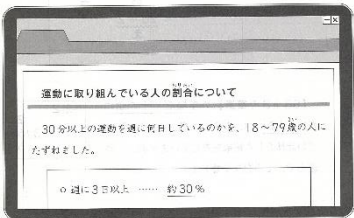
学習指導要領の領域	全道平均との比較	全国平均との比較
数 と 計 算	やや上回っている	やや下回っている
図 形	やや上回っている	やや上回っている
変 化 と 関 係	やや上回っている	同程度
デ ー タ の 活 用	上回っている	上回っている

<今回の調査における特徴的な問題> (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

○ 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する問題では、全道・全国平均正答率を上回りました。

4

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが重要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



運動に取り組んでいる人の割合について

30分以上の運動を週に何日しているのかを、18～79歳の人になぞねました。

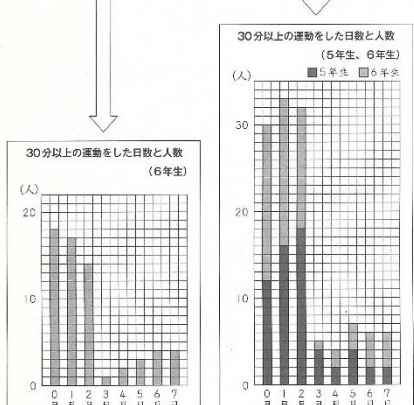
○週に3日以上 …… 約30%

あいか 1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

あいかさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。

あいか 自分の学年である6年生の結果を表しました。

はやと 5年生と6年生を合わせた結果を表しました。



あいかさんたちは、左の2つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

あいか どちらのグラフも「0日」、「1日」、「2日」の人数が多いということが同じですね。

はやと でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようちがいがあります。
6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。
下の[...]の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「1日」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようちがいがあります。

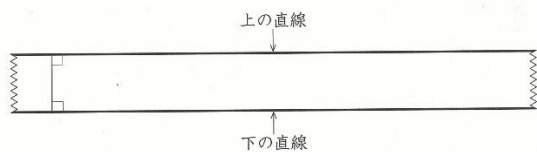
※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

【正答例】6年生のグラフでは、「1日」の人数が2番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「1日」の人数が1番目に多いです。

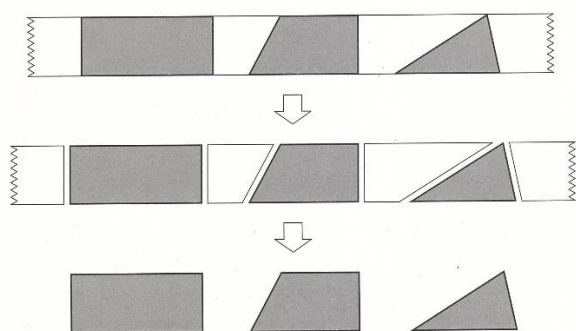
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、全道・全国平均正答率を下回りました。

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線は平行で、テープのはばはどれも等しくなっています。

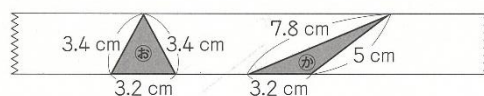


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形をつくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【正答】3

【正答例】三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。「お」と「か」の底辺は、どちらも3.2 cmなので等しいです。「お」と「か」の高さは、テープのはばがどれも同じ長さなので等しいです。だから、「お」と「か」の面積は等しいです。

2. 算数 改善の方向

- ・ 基本的な四則計算の仕方は定着していますので、今後もドリルタイム等の時間を活用し、AIドリルも加えながら、より一層の定着を図っていきます。
- ・ 言葉や、数、式、図、グラフ等を用い、さらに、算数的用語を正しく使いながら、論理的に考えたり、筋道を立てて説明したりする対話的な授業の充実を図ります。

児童質問紙（学習状況調査）

1. 教科の学習・学校生活について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ 学校が楽しいと感じている児童が多いことがわかりました。
- ◎ 特に国語が好きで、学習に対する関心意欲は高く、理解もしていることがわかりました。
- ◎ 授業では、学級で日常的に話し合い活動が行われている成果が表れているが、能動的でない児童もいることがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 何事も自分事として捉え、今、自分が努力すべきことを決める学級活動も大切にしたいと考えています。

2. ICT について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ クロームブックの一人一台配置などによって、学校で、ICT機器の活用が図られていることがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 今後は、効果的な使い方や、情報リテラシー教育について進めていくことが必要と考えます。

3. 生活習慣・学習習慣・学習環境について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ ほとんどの児童が家庭学習を行っており、家庭学習の取り組みが計画的で習慣化されていることがわかりました。
- ◎ 図書館利用頻度、新聞を読む児童、読書好きな児童が多いことがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 家庭学習については、このまま継続していけるよう、学校全体で取り組んでいきます。
- 今後も、本や新聞にふれることのしやすい環境づくりを進めていきます。

4. 規範意識・自己有用感について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ ほとんどの児童が、将来や自分の地域の発展について考えていることがわかりました。
- ◎ 外国のことを知ることや、積極的に外国語を使うような生活をしたいと思う児童が少ないことがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 日常的な振り返り活動を通して、自分のがんばりや良いところを見つめなおす経験を重ねる中で、自己有用感を高めていけるよう取り組んでいきます。

まとめ

- ◆ 今回の調査だけで全ての児童や一人ひとりのことを判断することはできませんが、本校では、これまでのデータも加えながら、今後の指導に役立てていきたいと考えています。
- ◆ 今回の調査で明らかになったことについては、次のように取り組みます。
 - ① 子どもたちの傾向の分析結果について職員間で交流し、学校全体で授業改善の意識を高めます。
 - ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用し、思考力・判断力・表現力を育成することを今後も継続的に取り組んでいきます。
 - ③ 規範意識の醸成に力を入れるべく、大人も子どももルール・マナーを意識した学校生活を心掛けていきます。
 - ④ これからも児童がのびのびと取り組んでいける教育環境の整備・充実を一層図っていきます。
- ◆ 今後もさらに児童一人ひとりの力を伸ばしていくよう努力して参ります。ご家庭でも、子どもたちの望ましい学習習慣・生活習慣が確立できるよう、ご協力をお願いします。
- ◆ 本校の教育活動へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

次年度の全国学力・学習状況調査の日程

- ◆ 令和6年4月18日（木） 実施予定
新6年生が 国語 算数 児童質問紙に取り組みます。

